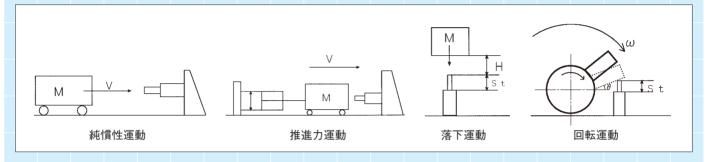
推力運動

Soft Silent Safety ソフトアブソーバーの選定方法

1. 運動の種類の確認

衝突条件を分類すると下記の通りになります。選定に置いてはその分類に応じてエネルギ計算を行い、取り付け方法を検討する必要が有ります。



2. エネルギー計算

2-1. 直線運動 〈確認仕様〉 □ 衝突物質量 : M (kg) □ 衝突速度 : V (m/s) :F(N)(エアシリンダー、モーターの推力、摩擦力、重力etc) □ 推進力 □ ソフトアブソーバー受け本数 : H(m) (落下運動の場合必要。ソフトアブソーバーのストロークは含まない。) □ 落下高さ □ ソフトアブソーバーストローク : St (m) 〈計算式〉 $E = \frac{1}{2} \times M \times V^2$ 純慣性運動 $E = \frac{1}{2} \times M \times V^2 + F \times St$ 推力運動 落下運動 $E=M\times g\times (H+St)$ (g:重力加速度=9.8m/s²) 2-2. 回転運動 〈確認仕様〉 □ 衝突物質量 : M (kg) □ 衝突角速度 : ω (rad/s) □ トルク : T (N·m) □ 慣性モーメント : I (kg·m²) □ 停止角度 : θ (rad) 〈計算式〉

2-3. その他計算式(下記計算式は最小値を示し、実際の数値はこれよりも大きくなります。)

□ 減速度(G値)	$G = \frac{0.051 \times V^2}{St}$	
□ 停止力	$F = \frac{E}{St}$	ソフトアブソーバーに発生する衝突時の抵抗力を示します。 取り付け部の強度の確認等で必要になります。
□ 停止時間	$t = \frac{2 \times St}{V}$	ソフトアブソーバーに衝突後、停止するまでの時間を示します。

 $E = \frac{1}{2} \times I \times \omega^2 + T \times \theta$